

II 基本計画

2026-2035

第1章 基本施策

村の将来像「美わしく 清らかな村 いいたて」を目指し、特に人口増加と一人ひとりの豊かな生活を実現するための施策や取組を設定します。

設定にあたっては、基本施策として「なりわい」「健康」「教育」「生活」の4つに分類し、その下に施策分野を設けています。

(例：基本施策「なりわい」の下に、施策分野である農業、林業、商工業、観光・交流に分類)

基本計画（Ⅱ）では、その施策分野ごとに、分野の目指すこと、村の主な取組、一人ひとりが取り組めること等を整理します。

扉ページ

「なりわい」「健康」「教育」「生活」ごとに、扉ページを設け対応する SDGs（持続可能な開発目標）を記載しています



基本計画（Ⅱ）に記載している項目の内容

施策分野(4) 道路・河川

基本計画4-(4) 日々の安全な暮らしを支え災害にも強い道路・河川づくり

道路・河川は、日々の暮らしに欠かせない身近なものであり、その維持管理と環境整備は、災害への備えにもつながります。国・県や地域と連携しながら、計画的な維持管理と環境整備を進めます。

現状・課題

- 安全で快適な生活環境を確保するため、国・県と連携し、道路や河川の整備・維持を着実に継続していくことが課題です。
- 道路や河川の草刈り・支障木伐採・除雪は、住民参加型で実施しており、今後も地域と協働で維持管理を進めていくことが課題です。

村の主な取組

① 道路・河川の適切な維持管理等の推進

（主な取組例）

- 国・県道の整備や修繕について関係機関に要望するとともに、村道の整備や修繕について、地域の要望や安全性を勘案しながら実施します
- 村が管理する道路橋の定期的な点検を実施し、安全性の向上と長寿命化を図ります
- 二級河川（新田川、飯樋川、比曾川、真野川、股田川、野手神川）の管理保全について関係機関に要望するとともに、普通河川（二級河川以外）を適切に保全管理し、洪水の被害低減を図ります

② 住民参加による維持管理の推進

（主な取組例）

- 地域と協力しながら、除草・除雪に取り組み、道路や河川の管理を行います
- 地域の担い手を確保し、村民との協働による管理や環境保全活動を促進します

関連計画

- 飯館村橋梁長寿命化修繕計画
- 除雪実施計画



- 道路や河川の草刈りや清掃活動に参加しましょう
- 道路などの危険箇所を見つけたらすぐに行政区や役場に知らせましょう
- 雨の日には水はけの悪い場所を点検しましょう
- ゴミを捨てずに綺麗な道路・河川にしていきましょう

分野の目指すこと

策定過程で開催した専門部会での議論により設定した10年後の姿。

現状・課題

専門部会での議論により、現状と課題を記載。

村の主な取組

分野で目指すことの実現に向け、前期計画期間に村（行政）が取り組む主な内容を記載。

関連計画

関連する村の計画を記載。

一人ひとりが取り組めること

村民一人ひとりが取り組める主な内容を記載。

なりわい

豊かな産業と新たな交流が生まれる村



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

8 働きがいも
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



15 陸の豊かさも
守ろう



1 なりわい

基本施策1 豊かな産業と新たな交流が生まれる村

施策分野(1) 農業

基本計画1-(1) 持続可能で稼げる農畜産業の実現

村にある未利用資源（牧草、稻わら、農業施設等）を有効に活用することが、循環型農業にも、地域経済の発展にもつながります。稼げる農畜産物を見極め、所得向上や生産量拡大につなげるとともに、後継者や新しい担い手育成などを進めます。

現状・課題

- 農家の大規模化等が進むものの、農業再開面積は全体の3割に留まっており、農畜産業の生産基盤が十分ではありません。
- 高齢化等により、地域の農畜産業を支える人材が不足しており、後継者や新たな担い手の確保が進んでいない状況です。
- 震災前の飯館牛のような村ならではの農畜産業のブランド化が十分に進んでいないため、稼げる農畜産業の実現が課題です。
- 耕作放棄地が多く存在し、活用されていない土地の利活用が課題です。
- 電気牧柵やワイヤーメッシュ柵、駆除プロジェクトチームなど、さまざまな有害鳥獣対策を講じているものの、依然として農作物への被害が多くなっています。
- ゼロカーボンビレッジといった推進に向け、各分野が連携した取組を行うことが課題です。

村の主な取組

① 農畜産業の生産基盤の強化

〈主な取組例〉

- 農畜産業従事者の経営安定化や規模拡大を推進するとともに、栽培や経営に関する技術支援を行います
- 国・県等の各種支援制度等を活用し、持続可能な農業と地域の景観・環境保全を図ります

② 後継者・担い手の育成・確保

〈主な取組例〉

- 農畜産業の組織化や大規模化に伴い、地域内外からの担い手の確保と育成を推進します
- 農業研修施設「きらり」を活用し、農畜産業の再開や新規参入を支援するとともに、担い手を確保するための情報発信を推進します
- ライフスタイルの多様化を踏まえ、農業における多様な働き方（短時間勤務、週末だけの就労、リモートワークなど）の導入を検討し、新しい担い手の確保に努めます

③ 農畜産物の高付加価値化による所得の向上

〈主な取組例〉

- 稼げる農畜産業を目指し、安全・健康志向など幅広い消費者のニーズに対応した農畜産物の生産・流通・販売戦略を検討します
- 飯館村産の牛肉である「飯館牛」、震災後から新たに作付けがはじまった「あぶくまもち」※をはじめとした飯館村産品の付加価値を高め、販路拡大を通じて産業の多角化を進めるとともに、積極的なPRや情報発信に努めます

※あぶくまもち：福島県が高冷地向けに開発したもち米。村で開発に協力した経緯などから、栽培拡大に取り組んでいる。

④ 農地の適正管理と多様な利活用の推進

〈主な取組例〉

- 村内の農地の適切な管理や利用を促進し、所有者自らの主体的な維持管理を基本に、地域全体で農地の利活用を進めます
- 既にある耕作放棄地は、耕作再開を基本としつつも、農地としての利用が難しい場合は、生物多様性の保全や景観形成、水源涵養など環境保全的な観点からの活用を図ります
- 有害鳥獣により農作物や生活環境への影響を最小限とするため、地域や村民と協力して有害鳥獣対策をさらに推進します

⑤ ゼロカーボンと生産性向上の両立

〈主な取組例〉

- 耕畜連携の仕組みづくりを支援し、地域資源を有効活用した循環型農業を推進します
- 脱炭素社会の実現に向け、木質バイオマス発電の熱利用や太陽光などの地域資源を活用した資源エネルギーの利活用や、環境負荷の低減に配慮した農業の推進を検討します
- 生産性の向上を目的として、スマート農業などの新技術の導入による農業DXを検討します

関連計画

- 飯館村鳥獣被害防止計画
- 飯館農業振興地域整備計画
- 地域計画（農業経営基盤強化促進法第19条に基づく）
- 飯館村農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
- 飯館村農業委員会農地等の利用の最適化の推進に関する指針
- 山村振興計画



- 村の牛肉や野菜を買って食卓に取り入れましょう
- 家族や地域で協力して、農地を守りましょう
- 村で農作物を作って、家族みんなで味わいましょう
- スマート農業など新たな技術を取り入れてみましょう
- 新規就農者に農地などを活用してもらうことを選択肢の一つとして考えてみましょう

施策分野(2) 林業

基本計画1-(2) 豊かな森を未来へつなぐ林業の実現

放射性物質対策を含めた森林再生事業等を着実に進めることにより、森林の多面的機能を回復させるとともに、重労働というイメージがある職場を魅力的なものとし、担い手確保につなげます。また、地域の森林資源を無駄なく活用し、林産物の出荷制限解除等に向けた検討を進めます。

現状・課題

- 適切な森林の整備・管理や放射性物質対策が十分でないため、森林の多様な機能を将来にわたって保全・継承することが課題です。
- 後継者や担い手が不足する中、担い手の確保に向けた里山や林業の魅力発信が十分ではありません。
- 木質バイオマス発電の稼働により、木質資源の活用は進みつつあるものの、環境と共生する林業の推進が課題です。

村の主な取組

① 森林整備・管理の推進

〈主な取組例〉

- 放射性物質対策を含めたふくしま森林再生事業等を着実に進めることにより、森林の多面的機能の回復を進めます
- 生物多様性に配慮しながら、飯館村森林組合など各種団体と連携し計画的な森林の整備と適切な管理を推進します

② 林業に関する学習機会の充実

〈主な取組例〉

- 幅広い世代を対象とした環境学習機会を充実させ、森林や林業への関心を高め、将来の担い手を確保します
- 研修や就業支援を通じて、実際に林業に関わる人材の確保・育成を着実に進めます

③ 環境との共生する林業の推進

〈主な取組例〉

- 木質バイオマス発電施設を活用し、森林資源を有効に利用するとともに、発電時に生じる排熱の活用を進めることで、森林資源の循環利用を一層推進します
- 木材利用など、豊かな森林資源を暮らしや活動に取り入れやすくします

関連計画

- ・ 飯館村森林整備計画
- ・ ふくしま森林再生事業全体計画
- ・ ふくしま森林再生事業年度別事業実施計画
- ・ 山村振興計画（再掲）
- ・ 農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画



- 地域の里山を守るため、下草刈りなどを行いましょう
- 木材を使った製品を日常に取り入れてみましょう
- 散策などで村の森林を感じましょう

施策分野(3) 商工業

基本計画1-(3) 働きがいとやりがいのある商工業の振興

村に根ざした安定的な雇用を守り育てることは、将来に希望を持って暮らしていく環境づくりにもつながります。引き続き新たな産業の創出を進めるとともに、既存企業の成長の可能性や個人のやりがいを見つけ、誇りを持って挑戦できる環境づくりを進めます。

現状・課題

- ・ スポーツ用品関連会社、商業施設など、村内への企業立地や創業の動きはあるものの、企業誘致や起業・創業支援による雇用創出が課題です。
- ・ 働く側の価値観が多様化する中で、優秀な人材が持続的に働く場づくりや、働きがい・やりがいのある職場環境の整備が課題です。
- ・ 商工業の活性化につながる活動は進んでいる一方で、地域全体のにぎわいや連携の強化に向けた取組の広がりが十分ではありません。

村の主な取組

① 企業誘致等による新たな産業の創出

〈主な取組例〉

- ・ 村内での事業活動の発展を図るため、既存企業の取組を支援するとともに、事業再開や創業を支援します
- ・ 産業団地の整備を進めるとともに、企業誘致など、村内での雇用の創出を促進します
- ・ 持続可能で効率的な地域社会に向け、デジタル技術を活用した業務改革（DX）や脱炭素に向けた取組（GX）を支援します

- ・ 飯館村産品の6次産業化やブランド化、販路拡大を通じて産業の多角化を進めるとともに、積極的なPRや情報発信に努めます（再掲）
- ・ 空き店舗等の活用を通じて、地域の新たな交流や活性化につながる取組を進めます

② 持続的に働く場づくりの促進

〈主な取組例〉

- ・ 村内の企業等で勤務する人材が持続的に働くよう、企業の働き方改革などを促します
- ・ 地域内の雇用創出と人材確保を図るため、求職者と事業者のニーズに応じた就労支援やマッチングの取組を推進します
- ・ 地域の課題解決や活性化につなげるため、フリーミッション型及び企業雇用型地域おこし協力隊の取組を推進します

③ 企業間交流と連携の強化

〈主な取組例〉

- ・ 村全体のにぎわい創出や連携の強化に向け、情報交換など村内外の企業間交流と連携を強化するとともに、商工業の活性化につながる各種団体の活動を支援します
- ・ 地域イベントや共同事業への企業の主体的な参画を促します

みんなで
取り組んで
みよう！



- 村内の道の駅やハシドラッグなどで買い物をしましょう
- 村の特産品をSNSや口コミで紹介して村の魅力を広めましょう
- 村にしかない・村でしかできないものづくりやサービスを考えましょう
- 村での起業を通じて、自分らしいビジネスに挑戦しましょう
- 村に関わる事業所等では、働き方改革や多様な働き方の尊重を進めましょう
- 村に関わる事業所等では、DX推進に向けた基盤整備や人材育成に取り組みましょう

施策分野(4) 観光・交流

基本計画1-(4) たくさんの人人が集まり、ともに楽しめる環境づくり

村には、自然・歴史・文化・食などの資源が数多く存在しますが、その魅力や価値が広く知られていないものも少なくありません。村独自の資源を磨き上げ、村民と来訪者がともに楽しめる観光・交流を目指します。また、デジタル手法とアナログ手法の両面から情報を発信することで、村の魅力を多くの人に伝えます。

現状・課題

- ・ 山津見神社、県の百名山である花塚山・野手上・虎捕山や星空など、村や資源の魅力を十分に発信できていないため、戦略的な情報発信や観光マネジメントの推進が課題です。
- ・ いいたて村の道の駅「までい館」や村民の森あいの沢など、村内にある様々な資源や観光拠点の活用が不十分であり、宿泊体験館きこりなどはあるものの、大人数への対応など多様な宿泊ニーズに十分対応できていません。
- ・ 村を案内するツアー等により村の知名度は少しづつ上っているものの、イベント等を通じた村内外の交流が継続的な取組となり、人口増加や地域活性化につなげることが課題です。

村の主な取組

① 戰略的な観光情報の発信

〈主な取組例〉

- ・ 地域資源を最大限に活かした観光振興を図るため、戦略的な観光マネジメントにより村の賑わいづくりを推進します
- ・ 東日本大震災の記憶と教訓を伝承し、防災・減災の意識を高めるとともに、復興の歩みや未来志向の村づくりを発信するホープツーリズム※を推進します
- ・ 訪れる人のニーズに合った内容・手法により、観光情報を発信します

※ホープツーリズム：震災などの被災地を訪れることで現地の復興の状況や課題を学び、被災地の支援や地域活性化に参加する観光のこと。

② 魅力的な資源の有効活用

〈主な取組例〉

- ・ 村の観光拠点の機能強化、既存資源の効果的な活用を推進します
- ・ 大人数の来訪にも柔軟に対応できるよう、関係者との連携などにより受入体制づくりを進めます

③ 村内外の交流による人口の増加

〈主な取組例〉

- ・ 村ならではの魅力を活かしたツアーやイベント等により、村内居住人口・関係人口・交流人口の増加を図り、地域活性化につなげます
- ・ 協定大学の学生等と継続的に関わりを持ち、地域課題の解決や活力の創出につなげます



- 観光客や移住希望者に温かい声かけをして迎えましょう
- 村のお祭りやイベントなどに気軽に参加しましょう
- 村のおすすめのスポットをたくさんの人人に紹介しましょう
- 村の地域資源を再発掘してよさを広めましょう

健 康

一人ひとりが輝き支え合う村



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう



2 飢餓をゼロに



3 すべての人に健康と福祉を



2 健康

基本施策2 一人ひとりが輝き支え合う村

施策分野(1) 健康

基本計画2-(1) それぞれが思い描く健康づくりの実現

今の健康を未来につなぐため、自ら取り組むことができる食と運動を中心として、ともに学び、取組を広げることで、村民の健康意識を高めます。また、健康づくりの基本的な取組として健康診査の普及啓発を充実します。

現状・課題

- 100歳体操を行うなど、自ら健康づくりに取り組む村民がいる一方で、メタボリックシンドロームの割合が県内ワースト3位と高く、生活習慣改善の取組が十分浸透していないことが課題です。
- 健康診査の受診率は他市町村より高いものの、個々の状況に応じた支援体制が十分ではありません。
- 地域サロンやサポートセンター「つながっペ」を実施していますが、子育て世帯や高齢者の一人暮らし世帯等、支援が必要な世帯に対して継続的な寄り添いながらの支援が必要であり、支援する人材確保や、多様なサービス提供が課題です。

村の主な取組

① 心身ともに健康で長く活躍できる身体づくり

〈主な取組例〉

- 生涯を通じて健康で生き生きと暮らすことができるよう、村民一人ひとりに合わせた心と身体の健康づくりの取組を進めます
- 身体活動・運動を促進するとともに、栄養・休養・睡眠、飲酒、喫煙等に関する正しい知識の普及啓発に努めます
- 幼少時からの食育を推進し、年代（ライフステージ）に合わせた食の健康づくりを進めます
- 放射線に関する正確で分かりやすい情報提供を行うとともに、多様な疑問や不安へのきめ細やかな対応を進めます

② 生涯を通じた疾病予防と健診の推進

〈主な取組例〉

- 生活習慣病の発症予防や重症化予防につながるよう、特定健康診査の受診の促進と健診結果に基づく保健指導を行います
- 疾病の早期発見・治療につながるよう、各種がん検診や精密検査の受診を促進します
- 感染症の予防とまん延防止のため、予防接種や感染対策を推進します

③ メンタルヘルス対策とつながり支援

〈主な取組例〉

- 孤立しやすい高齢者や一人暮らしの方、子育て世代等を対象とした、地域の居場所づくりや相談体制の強化により、それぞれに寄り添った支援を行います
- こころの健康に関する正しい理解の普及啓発や相談体制の充実、ゲートキーパーとなる人材の育成など、いのちを支える自殺対策に取り組みます

関連計画

- 飯館村健康づくり総合計画
- 飯館村地域福祉計画
- 飯館村新型インフルエンザ等対策行動計画



- 健康診査を毎年必ず受診しましょう
- 毎日の生活に運動やウォーキングを取り入れ、メタボ予防に取り組みましょう
- 栄養バランスを意識した食事を心がけましょう
- 健康で長生きしている方を手本にしましょう
- 村に関わる事業所等では、定期的な健康診断などにより従業員の健康状況を把握しましょう

施策分野(2) 医療

基本計画2-(2) さいごまで自分らしく生活できる医療体制の構築

村の中でも外でも安心して必要な医療を受けることができ、住み慣れた地域でいつまでも暮らせる村にするため、持続的な医療体制の構築が重要です。魅力ある職場など医療の環境づくりと、人材の確保、財源の確保を進めます。

現状・課題

- いいたてクリニックにおいて村在住の医師による外来診療・訪問診療が行われているものの、歯科などの診療等も含めた全ての世代が安心して暮らせる医療体制の構築が課題です。
- 村外医療機関への送迎や周辺市町村の医療機関等と連携は行われている一方で、広域的な医療体制のさらなる充実が課題です。

村の主な取組

① 村内の医療体制の充実

〈主な取組例〉

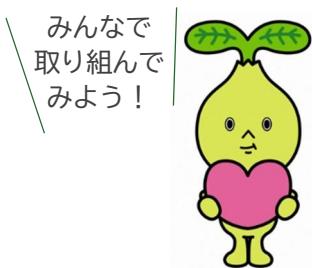
- 誰もが安心して暮らせるよう、村外の医療機関との連携や訪問診療の実施など、地域医療体制の充実を図ります

- 医療職が働きやすい環境づくりと医療現場の魅力の情報発信を積極的に進めるとともに、企業雇用型地域おこし協力隊等を活用しながら人材の確保に努めます

② 広域的な医療連携体制の強化

〈主な取組例〉

- 関係各機関と連携し、在宅療養支援体制の充実を推進します
- 通院等の利便性の向上に努めます



- かかりつけ医を持ち、体調不良時は早めにいいたてクリニックを受診しましょう
- 困っている方の送迎など、ともに助け合いましょう
- 緊急時の連絡先や受診体制を家族で確認しておきましょう

施策分野(3) 地域福祉（高齢者・障がい者・介護等）

基本計画2-(3) ともに気づき、支え合う地域福祉の実現

お互いに関心を持ち合うことで孤立を防ぐとともに、村民一人ひとりが福祉への理解と自分の役割を認識し、高齢者も障がい者も要配慮者も誰一人取り残さない支援を進めます。特に移動できることは生活の上で重要なことから、サービスの維持充実を図ります。

現状・課題

- これまで培ってきた地域のつながりはあるものの、誰もが孤立せずともに支え合う仕組みづくりが課題です。
- 介護サービスの選択肢が徐々にではあるが増えている一方で、要介護者等の割合が増加しており、利用者のニーズに対応できる介護サービスの充実が課題です。
- 障がい者・障がい児への福祉サービスは提供されているものの、一人ひとりにあった支援や自立した生活を支える体制が十分とはいえないことが問題です。
- 介護・福祉サービスの需要が増える中で、「いいたてホーム」を始めとして介護・福祉の担い手の確保や、定着が難しくなっています。

村の主な取組

① 地域で支え合う仕組みの実現

〈主な取組例〉

- 誰もが生きがいを持って、能力を生かしながら暮らせるよう、活動機会の創出や地域と連携した見守り体制の構築を推進します
- 相談活動やボランティアの派遣といった介護や福祉の活動を支援します

- ・ 地域サロンやサポートセンター「つながっぺ」などの各種事業を通して、フレイル予防※や、一人ひとりの身体や心の状況に応じた生きがい、出番づくりを進めます
- ・ 生活困窮者への各種給付や相談支援、就労支援により、自立を支援します
- ・ すべての村民が思いやりの心を持って行動できるよう、お互いに支え合う意識を醸成します

※フレイル予防：フレイルとは、加齢により、心や身体、社会とのつながりが弱まっていく状態のこと。フレイル予防は、食事・運動・交流を通じてその衰えを防ぐ取組。

② 持続可能な介護保険制度の推進

〈主な取組例〉

- ・ 介護を必要とする方が地域で安心して暮らし続けられるよう、介護サービス提供の維持充実を推進します
- ・ 介護保険制度の適切な運営を図るとともに、介護保険制度の理解を促します

③ 障がい者・障がい児福祉の充実

〈主な取組例〉

- ・ 障がい差別のない誰もが参加できる社会を目指し、障がい者の社会参加を促進します
- ・ 障がい者・障がい児に対する相談支援を行うとともに、一人ひとりに合った福祉サービスの提供に努めます
- ・ 障がいに対する正しい理解の促進を図ります

④ 介護・福祉人材の確保

〈主な取組例〉

- ・ 介護・福祉職が働きやすい環境づくりと介護・福祉現場の魅力の情報発信を積極的に進めるとともに、企業雇用型地域おこし協力隊等を活用しながら人材の確保に努めます

関連計画

- ・ 飯舘村高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画
- ・ 飯舘村障がい福祉計画・障がい児計画



- ・ 近くの一人暮らしの人などにやさしく声をかけましょう
- ・ ボランティアや地域交流に顔を出しましょう
- ・ 地域の高齢者と一緒に散歩や買い物をしてみましょう
- ・ やさしい思いやりの気持ちを持って行動しましょう

施策分野(4) こども・子育て

基本計画2-(4) 地域みんなで支え合う子育てしやすい環境づくり

子育て世帯だけで子育てをするのではなく、世代間の交流や地域で集える場を通じて、こども達の安全・安心な暮らしを守り、地域みんなで子育てをする環境づくりを進めます。また、きめ細やかな支援により、子育て世帯の負担を軽減します。

現状・課題

- 子育て支援センターが開所し、「こども家庭センターいいたて」における相談体制の構築等は進んでいるものの、引き続き支援が必要な方への対応が課題です。
- 少人数ならではの丁寧に個別対応ができる地域特性はあるものの、安心して地域で子育てできる環境づくりが課題です。

村の主な取組

① きめ細やかな子育て支援の充実

〈主な取組例〉

- 赤ちゃん誕生祝い金・子育て応援支援金などの各種事業を通じて子育て家庭への精神的、経済的負担を軽減し、子育て家庭に寄り添った支援を推進します
- 妊娠期から子育て期における育児不安・負担の解消や心身の健康を維持しながら適切な養育ができるよう、子育て家庭、こどもを対象とした保健事業の充実に努めます

② 子育てを支え合う地域社会の形成

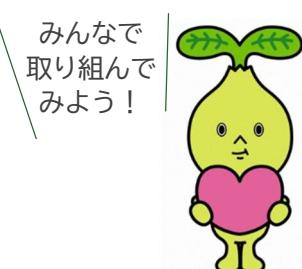
〈主な取組例〉

- 地域全体でこども・若者、子育て家庭を支援する意識を醸成し、地域の多様な資源や人材を活用し、こども・若者がのびのび育つ環境づくりを進めます
- 障がい、虐待、養育困難、貧困、ヤングケアラー※など、配慮を必要とするこども・若者や子育て家庭に対し、行政・関係団体・地域住民等が連携して地域全体で支援します
- 子育て支援につながる各種交流機会の創出を促進します
- 子育てしやすい環境づくりにつながる情報の周知や啓発に努めます

※ヤングケアラー：本来大人が担う家事や家族の世話などを日常的に行っているこども・若者のこと。

関連計画

- 飯舘村こども計画



- 村でこどもたちを見かけたら、あいさつをしましょう
- 子育ての集まりやイベントに参加して交流をしましょう
- 村のこどもたちの成長を地域全体で支え、共に喜び合いましょう
- こどもたちの見守りなどに協力しましょう
- 村に関わる事業所等では、子育て中の従業員への理解や配慮を進めましょう

教 育

学びと文化で未来を拓く村



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3 教育

基本施策3 学びと文化で未来を拓く村

施策分野(1) 学校教育

基本計画3-(1) 一人ひとりの可能性と個性を伸ばす「未来を拓く教育」の実現

村外に居住する園児・児童・生徒も、村との関わりを増やしていけるよう、学校等からの積極的な情報発信に努めます。保護者と地域、までいの里のこども園・いいたて希望の里学園とが連携し、地域に密着した「いいたてならでは」の教育活動を一体的に進めます。これらの取組により、村での学びが人生の糧となり、一人ひとりの可能性と個性を伸ばす教育につなげます。

現状・課題

- までいの里のこども園からいいたて希望の里学園まで一貫した教育を行っているものの、これからもこどもたちが安心して学べる環境づくりが課題です。
- 地域に開かれたこども園・学園づくりへの取組は進められているものの、さらなる学校等と地域との連携が求められています。
- 少人数教育の特徴を活かした取組が行われており、児童生徒一人ひとりに応じた教育を引き続き進めることができます。
- 地域に根ざした系統的・体系的なふるさと教育や、「いいたてならでは」の魅力ある教育の推進や地域の学びの機会の創出が求められています。

村の主な取組

① 教育環境の充実

〈主な取組例〉

- ICT教育や「いいたてならでは」の魅力ある教育の推進など、こども園・学園の教育環境の充実を図ります
- 教育機関、行政機関及び地域との連携により、こどもたちの心のケアや健やかな成長支援体制を充実させます
- 地域の食材を取り入れ安全な給食を提供します

② 地域に開かれたこども園・学園づくり

〈主な取組例〉

- 地域との連携やPTA活動など、地域に開かれたこども園・学園を目指します
- 部活動の地域展開は、企業や地域との連携等の検討を踏まえ、こどもたちの活動環境の充実を図り、進めています

③ 教育活動の充実

〈主な取組例〉

- ・ までいの里のこども園からいいたて希望の里学園まで一貫した少人数教育で「個別最適化された学び」を推進します
- ・ こどもたち一人ひとりに合わせて必要な力を確実に育成していきます
- ・ 保健・医療機関等との連携により、子どもの健康管理と体力向上を目指します

④ 特色ある教育の推進

〈主な取組例〉

- ・ 「もの・人・こと」の関わりを大事にした「いいたてならでは」の魅力ある教育として「いいたて学」や環境教育の充実を図ります
- ・ 少人数のよさを活かし、異学年交流や縦割り活動等を通して多様な学びを推進します

関連計画

- ・ 教育大綱

- 学校行事に参加してこどもたちを応援しましょう
- 学校ボランティアとして教育の場に一緒に参加しましょう
- こどもたちに地域の歴史や文化を伝えましょう
- 震災の経験を次の世代に継承しましょう
- 村に関わる事業所等では、職場体験など専門知識や経験を活かした学校との連携を考えましょう



施策分野(2) 生涯学習

基本計画3-(2) 地域の活性化を促す「自立的な学びによる生涯学習」の実現

村民の学習意欲が高まる機会を提供するとともに、交流センターふれ愛館などを拠点に、世代を超えた多様な人々の学び合い、村民の自立的な生涯学習活動を推進します。村民自らが発案・企画し、生涯学習活動を実行することで、交流の促進や地域全体の活性化につなげます。

現状・課題

- ・ 交流センターふれ愛館などを拠点に、多様な学習等の機会を提供していますが、参加者が固定化しつつあり、幅広い村民の参加が進んでいないことが課題です。
- ・ 交流センターふれ愛館の利用が行政主催の事業や講座等に偏っており、自主サークル活動など村民の自発的な活動が少なくなっています。
- ・ 男女共同参画の理念の普及や男女共同参画社会の形成が求められており、誰もが対等に社会参画できる環境づくりが課題です。

村の主な取組

① 生涯学習・学びの場の提供

〈主な取組例〉

- 学びや交流の機会を広げるため、積極的に情報発信を行いながら、世代を問わず参加できる各種学習機会や講座の充実を図ります

② 自主的な学びへの支援

〈主な取組例〉

- こどもから青少年、高齢者までの生涯にわたる生涯学習活動や、村民による自主的な学びを支援し、交流を促すとともに文化やスポーツ等に親しめる環境づくりを進めます
- すべての村民が本に親しみ持てるよう、村民の読書環境の充実に取り組みます

③ 男女共同参画の推進

〈主な取組例〉

- 男女共同参画社会の推進に向けた意識の向上を行います
- 家庭と仕事を大切にできる環境を整備します

関連計画

- 飯館村子ども読書活動推進計画
- 飯館村男女共同参画計画

- 交流センターふれ愛館に気軽に立ち寄ってみましょう
- 興味のある講座やサークルに参加して学びを深めましょう
- 自分の得意分野を講座や教室などに活かしましょう
- たくさん本を読むようにしましょう
- 「男だから」「女だから」と決めつけず、それぞれの考えを大事にしましょう



施策分野(3) 運動・スポーツ

基本計画3-(3) 誰もが気軽に運動・スポーツを楽しめる環境づくり

こどもから高齢者までのあらゆる世代が生涯にわたって、日常的に体を動かして運動・スポーツに親しむことができる機会の創出や環境づくりを進めます。また、村内のスポーツ施設の利用を促し、健康増進はもちろん、人的交流と地域全体の活性化につなげます。

現状・課題

- いいたてスポーツ公園やいいたてパークゴルフ場が村民の健康増進と交流の場となっていますが、多くの村民に利用されている状況にはいたっていません。
- スポーツ合宿の誘致を含めた幅広い利活用が十分に進んでいない状況です。
- 将来にわたって安全で持続的に利用できる体育施設を実現するため、計画的な維持管理が課題です。

村の主な取組

① スポーツを通じた交流促進と健康増進

〈主な取組例〉

- 多くの村民の体育施設の利活用を促進し、様々なスポーツを通じた世代を超えた交流をより一層促進し、村民の健康寿命の増進を推進します
- ふくしま駅伝、市町村対抗野球大会・ソフトボール大会への参加を促進するとともに、ナイター駅伝、各種プロチーム等の試合など、スポーツ大会等の開催を推進します
- スポーツ団体の継続的な活動環境を整えます

② 体育施設の利活用の促進

〈主な取組例〉

- スポーツ合宿の検討を含めて、いいたてスポーツ公園やいいたてパークゴルフ場、マラソンコースなど体育施設の利活用を村外へ積極的に情報発信しながら促進します
- 体育施設の計画的な維持管理や必要に応じた修繕を行い、利用者にとって使いやすい施設の維持を図ります

関連計画

- 飯舘村交流センター・いいたてスポーツ公園長寿命化計画

- 村のいいたてスポーツ公園やいいたてパークゴルフ場を利用して体を動かしましょう
- 仲間と一緒に楽しくスポーツをしましょう
- ふくしま駅伝やプロ野球などスポーツイベントを観戦・応援しましょう



施策分野(4) 文化・伝統・歴史

基本計画3-(4) 地域に根ざした暮らし・文化・伝統の未来への継承

村の歴史には、震災に関わる出来事だけでなく、暮らしや文化、自然との関わりなど、多様な歩みが刻まれています。文化や伝統を未来へ継承するための取組は、今後10年が重要な時期となります。村の歴史や震災に伴う全村避難の記憶を深く継承するため、デジタルによる記録と、人材育成の両面からの取組を進めます。

現状・課題

- 村民が芸術や文化に触れる機会の提供や、文化財の保存・活用の取組が十分ではないことが課題です。
- 比曽の三匹獅子など地域に残る伝統芸能があり、文化祭や芸能発表祭など発表の機会も設けられているものの、担い手が不足し活動の継続が危ぶまれているものもあります。
- 東日本大震災の記憶が風化しつつある今、村史をはじめ、多様な方法で震災の記憶を継承していくことが課題です。

村の主な取組

① 文化財の保存と継承

〈主な取組例〉

- 村の貴重な財産である文化財や民具等を適正に保存するとともに、村民への展示や啓発に努めます
- こどもたちを含めた村民が芸術や文化に触れる機会や学習する機会を持てるよう促進します

② 地域文化・伝統芸能の継承

〈主な取組例〉

- 地域文化・伝統芸能の継承を目指し、発表の場の提供や各団体活動を支援します
- 「いいいたて学」の内容をさらに充実するため、希望の里学園と連携しながら、児童・生徒と地域との関わりや教育の場の提供を推進します

③ 村民の暮らしや村歴史の継承

〈主な取組例〉

- 東日本大震災を含む村の歴史に関する出来事や事業等の資料収集や整理だけでなく、全村避難を経験した村民等の取材を通じて、村の歴史の保存・継承を図ります
- 村の歴史や村民の暮らしの貴重な資料、写真、映像等のデジタル化を進め、特に次世代を担うこどもたちへの理解が図りやすく整理し、教育や教訓の学び等での活用を図ります

- 地域の祭りをつくる側・楽しむ側の両方で関わりましょう
- 村の文化祭や芸能発表祭などで村の歴史や文化に触れる機会を持ちましょう
- 「いいいたて学」での村民ボランティアなどに参加しましょう
- 文化的伝承を通じた人づくりを進めましょう
- 村の語り部の話や村史を読んで村の歴史に触れてみましょう



生 活

ともにつくる安心で安らぎが続く村



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

6 安全な水とトイレ
を世界中に



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



4 生活

基本施策4 ともにつくる安心で安らぎが続く村

施策分野(1) 防災・火災予防・防犯

基本計画4-(1) たくさんの目で見守り支えあい、安心して暮らせる環境づくり

これまでの地域のつながりによる情報伝達や意識向上に向けた取組に加えて、デジタルなど多様な手段を活用し、必要な情報を一人ひとりに確実に届けます。さらに、地域・企業などのたくさんの目で見守り支えあい、村民が有事の際にそれぞれに行動でき、今より安心して暮らせる村づくりを進めます。

現状・課題

- 飯館村地域防災センターなどの防災拠点が整備され、訓練や研修が行われていますが、家庭での備えは十分とはいえず、一人ひとりの防災意識や地域の防災力向上が課題です。
- 企業消防隊などの取組を進めている一方で、消防団の担い手不足が解消されていません。
- 震災前よりも犯罪が増加傾向にあるため、防犯パトロールなどにより防犯意識を高め、たくさんの目で見守ることが課題となっています。

村の主な取組

① 地域における防災力の向上

〈主な取組例〉

- 過去の災害の教訓を踏まえ、備蓄や緊急時情報伝達手段を確保するなど災害に備えます
- 村のハザードマップの周知・活用、防災訓練などにより、村民の防災意識を高め災害に備えるとともに、自主防災組織の検討を進めます
- 大規模災害時に避難所となる機能を備えた飯館村地域防災センターなどを拠点に、村の防災力を強化します

② 消防体制の充実・強化

〈主な取組例〉

- 火災予防の意識啓発を行うとともに、予防活動を支援・促進します
- 地域の消防体制を充実するとともに、広域的な消防体制の強化を推進します
- 村内企業における企業消防隊の設置拡大を支援・促進します

③ 多様な目で見守る防犯対策

〈主な取組例〉

- 村民が防犯や交通安全を学ぶ機会を創出し、意識向上を図ります
- 防犯意識の普及啓発を行い、村民と協力し、総合的な防犯対策に取り組みます

- ・ 防犯パトロールの実施、防犯カメラの運用、地域企業、金融機関と連携した防犯対策に努めます
- ・ 交通安全運動等を通じて、交通事故のない安全な生活環境の確保に努めます。

関連計画

- ・ 飯館村地域防災計画
- ・ 飯館村国土強靭化地域計画
- ・ 飯館村公共施設等総合管理計画
- ・ 飯館村の国民の保護に関する計画
- ・ 飯館村耐震改修促進計画



- 家庭で食料や水を備蓄しましょう
- 防災訓練に参加して有事に備えましょう
- 消防団活動に積極的に参加しましょう
- いざという時に備えて心の通った地域関係を育みましょう
- 近所の方に目を配り、些細な変化に注意して自らの防犯に取り組みましょう
- 緊急時の避難場所などを家族で確認しておきましょう

施策分野(2) 住まい

基本計画4-(2) 誰もが愛着を持って住み続けられる住まい環境づくり

多様な暮らし方や価値観に応じて、住まいに対する愛着や地域へのつながりを大切にし、持続可能で暮らしやすい地域社会の実現を進めます。また、情報通信が当たり前に使える住環境の実現に向け、民間事業者との連携に努めます。

現状・課題

- ・ 空き家バンクの登録件数は増加しているものの、移住者向けの住宅は依然として不足しており、空き家活用や民間と連携した住宅整備など多様なニーズに合った住まいの確保が課題です。
- ・ 村内には、管理が行き届かなくなった住宅等もあることから、住宅等の適切な管理が課題です。
- ・ 上下水道は老朽化が進行し、現行の維持管理では将来的に安全な供給と処理を確保できなくなる可能性があります。
- ・ ゼロカーボンビレッジ宣言に基づき、村全体でごみ減量・資源循環に取り組んでいくことが課題です。

村の主な取組

① 多様なニーズにあった住まいの確保

〈主な取組例〉

- ・ 住宅の耐震化・バリアフリー化への支援等により、安全で快適な住環境の維持・向上を図ります
- ・ 移住者向けなど、様々なニーズに対応した住宅の確保に努めます
- ・ 民間事業者と連携し、不通話地域の解消等に努めるとともに、村内に整備されている光ファイバ網を活用し、村民の利便性向上を進めます

② 空き家対策と活用の推進

〈主な取組例〉

- ・ 空き家の利活用や管理不全住宅への指導などを促進します
- ・ 空き家バンクへの登録を促進し、移住者を呼び込む資源などとして空き家を活用します
- ・ 村内の空き家や空き地の対策として、社宅や創作活動の場、小規模な起業拠点など、多様な活用方法を検討します

③ 上下水道施設の適切な維持管理

〈主な取組例〉

- ・ 水道施設の適切な維持管理により、安全な飲料水や水環境の確保に努めます
- ・ 適切な汚水処理により、快適な生活環境の確保と水環境の保全を図ります
- ・ 合併浄化槽補助の継続などにより、適切な排水処理に努めます

④ 良好な環境の保全

〈主な取組例〉

- ・ 村全体でごみ減量・資源循環に取り組み、村民の意識啓発に努めるとともに、安全で適正なごみ処理を行います
- ・ カメラ・看板設置やパトロール強化などの不法投棄対策を進めます

関連計画

- ・ ゼロカーボンビレッジ実行計画
- ・ 飯館村生活排水処理基本計画
- ・ 飯館村水質検査計画
- ・ ごみ処理基本計画

みんなで
取り組んで
みよう！



- 自らの持ち家などを適切に管理しましょう
- 家庭から出るごみの分別を徹底しましょう
- 家の耐震性や防火対策を確認しましょう
- 家の断熱などの省エネルギーや再生エネルギーの導入を検討しましょう
- 水の使い過ぎに注意して、節水をこころがけましょう
- 家族はもちろん移住者にも家を活用してもらうことを選択肢の一つとして考えてみましょう

施策分野(3) 環境・景観

基本計画4-(3) 豊かな自然環境や里山風景の維持・継承

これまでに育んできた自然や里山の風景を次世代へ継承するためには、田畠や山林に対する日々の取組が欠かせず、地域全体で協力することが必要です。一人ひとりが自然とともに生きる意識を持ち、除草・山林の手入れなどで身近な環境づくりを支えます。

現状・課題

- ゼロカーボンの実現に向け、地球温暖化対策の一層の強化が課題です。
- 「日本で最も美しい村」連合に加盟する村として、自然と星空の魅力ある景観を保つため、行政と村民が協力した活動が不可欠となっています。

村の主な取組

① ゼロカーボンビレッジの推進

- 環境負荷を低減する暮らし方を推進し、ゼロカーボンへの理解と意識を高めるため、普及啓発等を進めるとともに、次世代を担う人材の育成を通じて、継続性を確保します
- 家庭でのエネルギーの使い方を見直し、断熱などの省エネルギー改修や高効率家電の導入などについて、分かりやすく情報を提供します

② 美しい景観づくりの推進

〈主な取組例〉

- 本村の美しい景観を未来に継承していくため、「日本で最も美しい村」連合、あぶくま口マンチック街道構想推進協議会等と連携し村全体が協力して景観づくりに取り組みます
- 草刈りや、道路沿いの四季折々の花のおもてなし・植樹などを、行政と村民が協力して進めます

関連計画

- ゼロカーボンビレッジ実行計画（再掲）

みんなで
取り組んで
みよう！



- 日頃から節電・エコドライブなどを実践しましょう
- 地域の皆さんと一緒に草刈りや沿道の花植えなどに参加しましょう
- 村の自然に親しみ魅力を再発見しましょう
- 家の庭や周囲に草花を植え、美しい村にしましょう
- 環境に配慮した商品を購入しましょう
- 村に関わる事業所等では、再生可能エネルギーの導入や高効率エネルギー設備・機器への転換を検討しましょう
- 村に関わる事業所等では、日頃から節電・エコドライブやペーパーレス化に取り組みましょう
- 村に関わる事業所等では、環境配慮製品への転換や、廃棄物等の資源化に取り組みましょう

施策分野(4) 道路・河川

基本計画4-(4) 日々の安全な暮らしを支え災害にも強い道路・河川づくり

道路・河川は、日々の暮らしに欠かせない身近なものであり、その維持管理と環境整備は、災害等への備えにもつながります。国・県や地域と連携しながら、計画的な維持管理と環境整備を進めます。

現状・課題

- 安全で快適な生活環境を確保するため、国・県と連携し、道路や河川の整備・維持を着実に継続していくことが課題です。
- 道路や河川の草刈り・支障木伐採・除雪は、住民参加型で実施しており、今後も地域と協働で維持管理を進めていくことが課題です。

村の主な取組

① 道路・河川の適切な維持管理等の推進

〈主な取組例〉

- 国・県道の整備や修繕について関係機関に要望するとともに、村道の整備や修繕について、地域の要望や安全性を勘案しながら実施します
- 村が管理する道路橋の定期的な点検を実施し、安全性の向上と長寿命化を図ります
- 二級河川（新田川、飯搗川、比曾川、真野川、股田川、野手神川）の管理保全について関係機関に要望するとともに、普通河川（二級河川以外）を適切に保全管理し、洪水の被害低減を図ります

② 住民参加による維持管理の推進

〈主な取組例〉

- 地域と協力しながら、除草・除雪に取り組み、道路や河川の管理を行います
- 地域の担い手を確保し、村民との協働による管理や環境保全活動を促進します

関連計画

- 飯館村橋梁長寿命化修繕計画
- 除雪実施計画



- 道路や河川の草刈りや清掃活動に参加しましょう
- 道路などの危険箇所を見つけたらすぐに行行政区や役場に知らせましょう
- 雨の日には水はけの悪い場所を点検しましょう
- ゴミを捨てずに綺麗な道路・河川にしていきましょう

施策分野(5) 公共交通

基本計画4-(5) 日常生活を支える基盤となる公共交通ネットワークの形成

誰もが必要な時に安心して利用できる公共交通は、村民の日常生活を支える基盤となっています。これらのサービスを継続するために、民間事業者等との協力・連携、財源の確保など多様な取組を進めます。

現状・課題

- 近隣市町をつなぐ路線バスが維持され、生活支援ワゴン等による送迎が生活の足となっており、今後も継続的に交通手段を確保することが課題です。
- 復興財源の縮小・終了に伴う新たな財源の確保など、継続的に公共交通サービスを提供できる仕組みの検討が急務です。

村の主な取組

① 村民の移動手段の確保

〈主な取組例〉

- 柔軟な運用により、公共交通の利便性確保に努めます
- 情報提供の充実等により、公共交通の利用促進と利便性向上を図ります
- 効率的で利便性の高い運用の検討を行います

② 新たな公共交通サービスの検討

〈主な取組例〉

- 生活支援ワゴン等による送迎サービスの継続等を検討します
- 新たな財源の確保や、新たなデマンド交通※の整備を検討します

※デマンド交通：利用者の予約に応じて運行する交通サービスで、決まった路線や時刻表ではなく、利用者の需要（デマンド）に合わせて柔軟に運行する仕組み。



- 生活支援ワゴンやお助け合い事業を利用してみましょう
- 公共交通の利用ルールを守って快適に使いましょう
- 日常生活に自転車の利用を取り入れてみましょう

施策分野(6) 地域活動

基本計画4-(6) 地域コミュニティを村の核としたさらなる地域活性化の実現

震災以降、地域コミュニティの核となる行政区活動が以前のような活気を取り戻すことが難しい面がある一方で、移住者や若い世代といった新たな担い手も加わっています。村民の自発的な取組や協働を継続するとともに、世代や立場を超えて手を取り合った地域に根ざした活動を再び力強く展開します。

現状・課題

- 「地域みがきあげ計画」に掲げる地域の目標達成に向け、地域サロンや環境美化など行政区での活動は活発化していますが、こども・若者の減少や高齢化により、行政区を始めとする地域コミュニティの維持が課題となっています。
- 地域おこし協力隊は村の課題解決に資する活動を行っており、今後もその役割を広げ、より一層活躍できる体制を整えていくことが課題です。

村の主な取組

① 行政区主体の取組・活動の支援

〈主な取組例〉

- 行政区ごとの「地域みがきあげ計画」に基づき実施する活動や、地域コミュニティの維持に向けた取組を支援します
- 「みがきあげよう！ふるさと補助金」など、地域の魅力向上や課題解決に繋がる村民主体の取組や、世代を超えて楽しむことができる活動を支援します

② 村民も移住者も活躍できる環境づくり

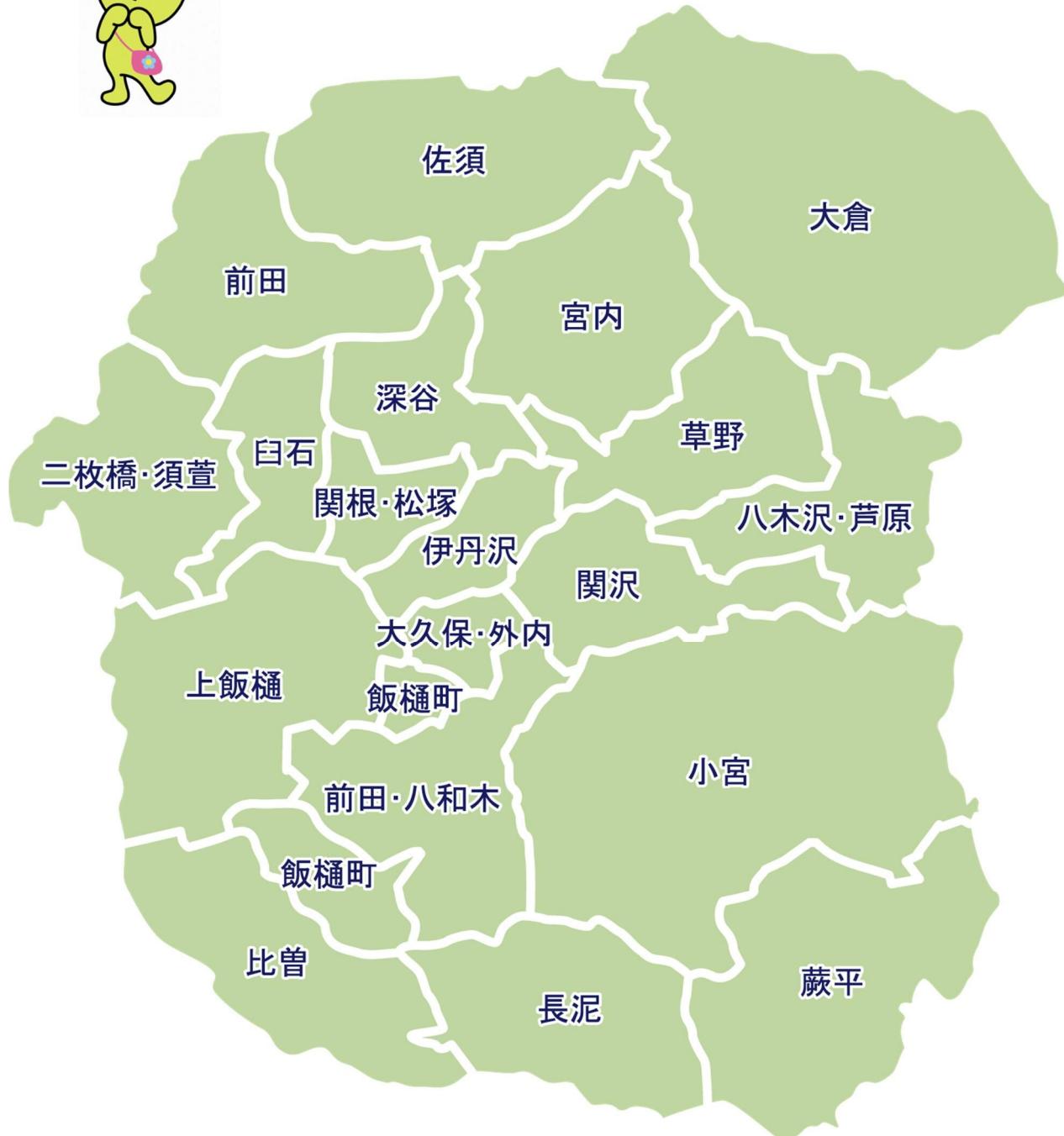
〈主な取組例〉

- 村民が村づくりに参画しやすい仕組みを整えるとともに、自らの地域を創る意欲あふれる人材や組織づくりを支援します
- 地域おこし協力隊をはじめとした、移住者との交流を促進するとともに、活躍できる環境の構築を支援します



- 地域の集まりや活動に気軽に参加しましょう
- 移住者や地域おこし協力隊の方に気軽に声をかけましょう
- 家族や地域の大切さを見直しましょう
- 埋もれている地域資源を発掘し、新たにみがきあげ活用しましょう

村には
20の行政区
があるよ！



施策分野(7) 行財政

基本計画4-(7) 将来を見据えた行財政運営の実現

新たな財源確保のための多角的な手法を積極的に検討するとともに、行政運営の効率化を図るため、DX や行政改革にも継続的に取り組み、将来を見据えた行財政運営を進めます。

現状・課題

- ・ 村の健全財政を維持するため、自主財源を確保するなど、村で稼ぐ取組を進めるとともに、役場職員の慢性的な人材不足を解消することが課題です。
- ・ マイナンバーの普及は一定程度進んでいますが、さらなる DX の推進による利便性の向上及び効率化とデジタルが苦手な村民に寄り添った対応が課題です。
- ・ 公共施設の長寿命化に向けた取り組みが進められていますが、今後は老朽化による修繕などの財政負担増加が懸念されます。
- ・ ゼロカーボンの実現に向け、公共施設等での取組の推進が課題です。
- ・ 行政運営に対する村民の理解と信頼を深めるためには、事業の成果を分かりやすく示し、情報を的確かつ効果的に発信していくことが課題です。

村の主な取組

① 収入確保と効率的な行財政運営

〈主な取組例〉

- ・ 多様な財源や手法による収入確保に努めるとともに、限られた財源を最大限に活用します
- ・ 行政手続きが複雑化する中で、効率的な行財政運営を実現するため、業務改善や省力化等の見直し等を進めるとともに、職員の意識改革と人材育成を推進します
- ・ 役場職員が働きやすい環境づくりを行うとともに、役場で働く魅力を積極的に情報発信し、人材の確保につなげます

② DX（デジタル変革）の推進

〈主な取組例〉

- ・ 自治体 DX の推進により、行政手続きのオンライン化をはじめとしたサービスの迅速化や利便性の向上を図ることで、より効果的かつ効率的な行政運営を実現します
- ・ 役場職員のデジタル技術の活用を含む業務効率化やサービス向上に対応できる能力を育成するとともに、高齢者に対する丁寧なサポート体制を構築します
- ・ 民間事業者と連携し、不適切な地域の解消等に努めるとともに、村内に整備されている光ファイバ網を活用し、村民の利便性向上を進めます（再掲）

③ 公共施設の適正管理と利活用

〈主な取組例〉

- ・ 持続可能で最適な公共サービスを提供するため、公共施設等総合管理計画に基づき、総量縮減や再編など、公共施設等のマネジメントを進めます

- ・ 公共施設等の長寿命化のため適正な維持管理に努めるとともに、企業による利活用等を促進します
- ・ 既設及び新設する公共施設は、ユニバーサルデザイン※と防災機能に留意するとともに、再生エネルギーの導入を検討します
- ・ 公用車等への電気自動車の導入及び充電設備の拡充を進めます

※ユニバーサルデザイン：年齢や性別、身体的能力、国籍や文化など人々の様々な特性や違いを超えて、すべての人が利用しやすい、すべての人に配慮したまちづくりやものづくり、しきみづくりを行う考え方。

④ 開かれた行政運営と情報発信の充実

〈主な取組例〉

- ・ 本計画に基づいた事業の成果や効果を検証し、計画的かつ効率的な行政運営につなげます
- ・ 行政情報を積極的に公開し、透明性と信頼性の高い行政を推進します
- ・ 広報紙やホームページ、SNS など多様な媒体を活用し、村の取組や魅力を積極的に発信します
- ・ 村民との意見交換や情報共有の機会を充実させ、村民と行政が一体となった村づくりを進めます

関連計画

- ・ 飯館村公共施設等総合管理計画（再掲）
- ・ 飯館村交流センター・いいたてスポーツ公園長寿命化計画（再掲）
- ・ 飯館村特定事業主行動計画
- ・ 飯館村過疎地域持続的発展計画
- ・ 辺地総合整備計画
- ・ 地域再生計画
- ・ いいたてまでいな創生総合戦略
- ・ 飯館村耐震改修促進計画（再掲）



- 村の広報紙や SNS で最新情報をチェックしましょう
- 村の施設を積極的に利用しましょう
- 今まで以上に役場と村民の力を合わせましょう
- 村をよりよくするための活発な意見交換を行いましょう
- デジタル活用に向けてスマホの活用などを学びましょう